令和７年度（2025 年度）教科研修（高校　英語）
～「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実～
実施要項

１　目　的

高等学校外国語科・英語科における「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に関する講義・演習等を通して、自己の課題を明確化し、その改善に取り組むことで実践的指導力の向上を図ることを目的とします。

２　主　催

北海道立教育研究所

３　期　日

(1) 令和７年（2025年）７月８日（火）　遠隔型研修Ⅰ
（遠隔型研修Ⅰから遠隔型研修Ⅱの間：職場実践）
(2) 令和７年（2025年）11月11日（火）　遠隔型研修Ⅱ

４　実施方法及び会場

(1) 実施方法
本講座は、遠隔型研修により実施し、各研修の間の期間に職場実践（自己研修）に取り組みます。
(2) 会　場
各受講者の勤務校（勤務校にいながら受講することが可能です。）

５　参加対象

教科等指導において中核的な役割が期待される高等学校等外国語科担当教諭（主幹教諭含む）定員 10 名

６　研修内容及び日程（職場実践（自己研修）を除く）

	７／８（火）10:00～15:00　遠隔型研修Ⅰ			
［9:30～10:00］接続受付	［10:00～10:15］オリエンテーション	［10:15～12:00］ **【講義】** 「高等学校外国語科・英語科における『個別最適な学び』と『協働的な学び』の一体的な充実」 国立教育政策研究所 教育課程調査官 富　永　　幸　氏	［13:00～14:30］ **【演習・協議】** 「『個別最適な学び』と『協働的な学び』の一体的な充実に向けた自己課題の明確化と目標の設定」	［14:30～15:00］**【まとめ】** 「研修の振り返り」

	11／11（火）13:30～16:30　遠隔型研修Ⅱ		
［13:00～13:30］接続受付	［13:30～14:00］オリエンテーション	［14:00～16:00］ **【実践交流・協議】** 「『個別最適な学び』と『協働的な学び』の一体的な充実に向けて」	［16:00～16:30］ **【まとめ】** 「研修のまとめと今後の取組について」

７　講師及び実践発表者

遠隔型研修Ⅰ

【講義】「高等学校外国語科・英語科における『個別最適な学び』と『協働的な学び』の一体的な充実」

国立教育政策研究所教育課程調査官　富　永　　幸　氏

８　準備物

・「高等学校学習指導要領（平成 30 年告示）解説　外国語編　英語編」

・「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料　高等学校　外国語（令和３年８月　国立教育政策研究所）」

・「令和６年度（2024 年度）高等学校教育課程編成・実施の手引　外国語」（北海道教育庁学校教育局高校教育課）

・「令和６年度（2024 年度）高等学校教育課程編成・実施の手引　英語」（北海道教育庁学校教育局高校教育課）

・遠隔型研修Ⅰまでの間、夏季休業明けに行う予定の「単元の指導と評価の計画」を作成し、提出していただきます。

・遠隔型研修Ⅰから遠隔型研修Ⅱの間に、改善・実施した内容を「発表資料」としてまとめたものを作成し、提出していただきます。

９　受講に係る留意事項

(1) 遠隔型研修

ア　本研修講座で使用する配信画面、配信動画等を無断で録画（スクリーンショットでの撮影を含む）、録音、ダウンロードしないでください。

イ　接続不具合等により講座の一部を受講できなかった場合の対応については、別途お知らせします。

(2) その他

ア　それぞれのコマを開始時刻から直ぐにスタートできるよう、接続に御協力願います。

イ　受講者としてふさわしい服装で受講してください。

ウ　研修講座アンケートは、講座修了後に回答いただきますので、御協力願います。

エ　研修講座の紹介のため、本研修講座の様子を写真や動画として撮影させたいただく場合がありますので、御了承願います。

10　その他

(1) 研修終了後、当ホームページに研修の様子を掲載させていただく場合もあります。
そのため写真に顔等が映り込むことがございますので、あらかじめ御了承ください。

(2) 遠隔型研修の受講に当たっては、インターネットの接続が可能な端末（カメラ機能・音声入出力機能有り）が必要となります。

(3) 本研修の一部講義は、「教員研修プラットフォーム」（Plant）を用いて、後日、研修受講者以外にも公開する予定です。